

17/3/3 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋市民オンブズマン作成メモ）

総務課長：資料の説明

江上博之(共産・中川区)：資料 収支が黒字。

プラスアルファのお金は考えていないのか？

収支が黒字。運営管理費が本来あるべきより少ないのではないか

管理課長：設備の維持管理、植物 予算立てしている

工夫して使うもの。植物 ボランティア・自衛隊の協力

剪定の講習の場 いろんな工夫をしている

今後も管理していきたい

江上博之(共産・中川区)：360万人どう割り出したか

4年間くらいの話。その後はわからない。

4ページ 大人の人数割合 500円

今度の計算の仕方 名古屋市内 11% 市外 89% でよいか

主幹：市民 354円 市外 788円

江上博之(共産・中川区)：値段が変わるにもかかわらず、パーセントが同じはおかしい

今日の資料 不可能な数字

360万人来ない場合があり得る

お尻は税金投入しないになっている

赤字になった場合どうする？

主幹：先のことなのでまずは360万人を目指す

仮に来なかった場合 いくつかある

一般会計から借り入れる 特別会計から一般会計に返す

入場料金を踏まえてもう一度検討する

様々なことを検討する可能性

360万人を維持できなかったときにあらためて検討

江上博之(共産・中川区)：「結論が税金投入しない」

税金投入する、とすれば

投入しないと言うから

変えることはないのか

主幹：現時点としては基本的には税金を投入しない

入場料収入 国や県に補助金等

寄付金等の確保

50年で償還

田辺雄一(公明・千種区)：入場者数

H27年度 174万人

H28年度 200万人

今年特に多かった

ご意見 「お城入場制限されるらしいから上がれないでしょ？」

スターウォーズ展 無様な看板がでている

市長の発言が重い

駆け込み需要のようになっている

所長：今年度 春の桜 秋から看板 入場者が伸び出した訳ではない

田辺雄一(公明・千種区)：そういう方がいることを知っているか

所長：私どもは聞いていない

田辺雄一(公明・千種区)：あなたが聞いているわけではない

お客さんと接する人がいろいろ聞いている

こういう広がりなんだ

天守閣に行っておかないと、という

誰が接している？お客さんと。

あなた方が接しているわけではない。

ガイド、窓口 なぜあなたがそう言えるのか

所長：私たちが接する機会はあまりない

ガイド、職員 報告は把握していない

田辺雄一(公明・千種区)：一回聞いてごらんなさいよ

言っておられたかどうか

報告項目でないから普通は報告しない

聞いてみますか？

所長：現場の声を聞いてみたい

木下優(公明・中川区)：日本総研の評価内容

熊本城、姫路城 計算はやり方自体は間違っていない

360万人が50年間来るかどうか

来なくなったらどうするか てこ入れ 不明確

38年以降 予測不可能

10年ごとに見通しをつけるようにやっているのか

主幹：360万人確保すべき 需要予測より低くなったら分析

どうすればよいか検証して対策

木下優(公明・中川区)：「頑張ります」というだけ

レゴランド

観光客 2400万→4000万→6000万

リニア これだけ来るだろう

できなくなったときにどうするか

何もできない 東海地震 30 年以内 8 割来るだろう

マイナスに入っていない

識者が言っている 被害想定はなぜ入っていない

主幹：地震等の天災 いつ起こるかわからない

私どもの推計値には入っていない

木下優(公明・中川区)：地震は起きるときに起きる

入場者数落ち込む 赤字になる

一般会計から借り入れる

入場料でまかなうという考えはわかるが

主幹：現時点では税金投入がないように、補助金、寄付金、管理運営費見直し

天災等起こったときは、どうあるべきか検討

木下優(公明・中川区)：起きてしまったら完全に破綻

何ヶ月か何年か。税金投入もあり得るのでは

部長：天災等はいつ起きるか全くわからない

長期的視野は予測不能なことがあるかも 少し漸減傾向にすべきではないか

長期的なこと 重いことと受け止めている

時期を得た投資を

しかるべきときにしかるべき投資を

木下優(公明・中川区)：苦し紛れの答弁

日本総研の評価内容 長期トレンド 公営形態 漸減傾向

民営 安定か上昇

大阪城

名古屋城 民営化、民間に任せることを考えているのか

主幹：管理運営 包括的に委託

金シャチ横町 民間事業者

名古屋城 少しずつ民営化

イベント等総括的 民間にお願い

大阪城のようにすべて民間は難しいが

木下優(公明・中川区)：いい結果を出しているところもある

366 万人が平均的は大変心配している

もう少し踏み込んだことをしないと絵に描いた餅

丹羽ひろし(自民・名東区)：入場者増えている

6 月 24 日資料 年代数来場者数見込み

おしなべて 360 万人

H71 年度

164 万人→174 万人

試算表変わってくるのか

主幹：まちごと総合戦略

その資料と大きく変わることはない

丹羽ひろし(自民・名東区)：数字がそろいすぎてあまりにも気持ち悪い 変動するのが普通

はじめから数字ありき

定数に変数になっていくと読めない

日本総研が言うことも事実。

儲かるのなら PFI など民間でやってはどうかという意見はなかったか

主幹：大阪城 文化庁との折衝

管理運営が民営

名古屋城 文化庁との申請

原則的には民間にお願いすることは当時はなかった

丹羽ひろし(自民・名東区)：11/24 に文化庁に話を聞きに行った

「木造化してもいいと言質はとっているのか」

主幹：直接には聞いていないが、反対しているものではない

丹羽ひろし(自民・名東区)：もちもない状況

主幹：文化庁 基本設計着手すれば協議する

丹羽ひろし(自民・名東区)：普通なら基本設計 10 億を認めて、文化庁協議して、そこから着手

今回 10 億認めれば 505 億進んでしまう

議会には諮るが、、、

金儲けの道具になると考えているのか

所長：金儲けという考えではないが、経済効果は木造天守閣で多くの人に来るので説明した

丹羽ひろし(自民・名東区)：11 月定例会 3 者 市長、当局、優先交渉権者と協議

当局と市長は別物なのか？

所長：11 月議会 市長と当局が同じイメージで進めるように

それに基づいて 基本的には市長と当局は一緒に

丹羽ひろし(自民・名東区)：市長は記者会見で「早くやらないと金儲け」

所長は経済効果云々 一致していない どう解釈すればよいのか

所長：言葉の表現 市長は金儲けと言ったのかもかもしれない

名古屋が経済的に発展してほしいと理解している

丹羽ひろし(自民・名東区)：委員は理解していない

議員 10 年間の資料 「市長、当局」分けているのは閣内不一致を出しているのではない
か

主幹：区分の資料 継続動議 指摘の通り書いた

市長、当局、優先交渉権者と指摘を受けた

丹羽ひろし(自民・名東区)：当局と市長は一蓮托生でいいですね

主幹：そう

丹羽ひろし(自民・名東区)：youtube 炎上 12/5 記者会見

無記名契約と言いまして 誰が言ったんだ

主幹：契約していない

丹羽ひろし(自民・名東区)：会見の市長 間違っていたんですね

主幹：契約という概念を広くとっている 法的な立場がある 信義誠実の原則の立場から
発言

丹羽ひろし(自民・名東区)：市長が契約契約 勘違いしている

その後記者会見 触れられたことはあるか

主幹：記憶で申し訳ないが、ない

丹羽ひろし(自民・名東区)：youtube で確認したが、ない

マスコミに対して正規な説明

市民はわからない

怠っていたのではないか

部長：議員ご指摘の通り 契約という同じ言葉が飛び交っていた

広義の契約 口約束

具体的に議論している契約 いまだいたっていない

市長と確認した

丹羽ひろし(自民・名東区)：しっかり誤解ないように

市民「市長がすでに契約している」と発言

塚本つよし(民進・瑞穂区)：

9月21日資料 委員会指摘事項

第三者機関 問い合わせ

5社に問い合わせ 評価をいただけなかった

日本総研

唯一が日本総研か

主幹：今回日本総研 もう一社から見積もりとった

塚本つよし(民進・瑞穂区)：2社あったと言うことか

主幹：その通り

塚本つよし(民進・瑞穂区)：9月21日 達成していると言うことか

部長：委員会の指摘を受け、観光系、シンクタンク系 ヒアリング

11月議会継続動議を受け、算定方法について

9月21日は幅広く調査

塚本つよし(民進・瑞穂区)：入場者の見込み 大きい数字が続くのか 6月議会から
今お答えいただいた

3月中旬に詳細 2年間先送り 詳細調査すると聞いている

現在当局の皆さんが資料を出した意味づけ 胸を張っていえるのか
心許ない姿勢

部長：今回の日本総研 算定方法 H38年度は概ね妥当

長期は漸減傾向 重く受け止めている

塚本つよし(民進・瑞穂区)： 昨日の質問 概ね妥当 評価がどこにかかるのか
予測について概ね妥当

当局の皆さんが日本総研 長期的予測 胸を張って言えるのか
逃げ口上なのか

概ね妥当はどこにかかるのか

部長：そこまでの分析・調整はできていない

長期予測は漸減傾向 重く受け止めている

今できる長期的予測 366万人 40年 50年続く 努力していきたい
入場者数を確保していきたい

田辺雄一(公明・千種区)：評価委員の意見

入場者数・見込み 根本的な話

元に戻すような話

そもそもの話 議案は10億円余 設計など

われわれに求められているのは505億円 技術提案・交渉方式に対する賛否でよいか

所長：あくまでも設計費の予算

最高で505億円 一連の中の一部としての設計予算

基本的には全体を進めていく

田辺雄一(公明・千種区)：技術提案・交渉方式でやること 了とした議会の表明はしたのか

所長：H27年度9月議会 補正予算上程 そこで付帯決議 認めていただいた

議決によって技術提案・交渉方式は認められた

田辺雄一(公明・千種区)：調査費 是非の判断をしていく

所長：アンケートを踏まえた上で昨年6月議会に予算案を提出した

田辺雄一(公明・千種区)：なにがでてくるか誰もわからなかった

第1回意見聴取会 拝見した

国 国土交通省直轄方式 運用のガイドライン H27.6 88.89ページをもとに

主幹：中立かつ公正 やっている

田辺雄一(公明・千種区)：中立かつ公正の確保 発注者の忖意を配することが重要

議事録 技術提案・交渉方式適用の可否について

範囲、項目、評価基準、交渉手続き

古阪委員：いろんなところもオリンピックに向けてやっている。

倍かかるかもしれない。市長が責任とりますとすることになる。

心配をする発言。

必須である

古阪委員：ゼネコンの知恵がありますよね。オリンピックに

リニアに間に合わせるという

品質もよく、お金も安くなるかもしれない。

オリンピックの会場なら必須条件ですが。

二つの案を持っておいてもよいのではないか

技術提案・交渉方式に対しても疑問がでた

所長：2020年7月までと説明していた

市長のオリンピックまでという強い思いを受け、技術提案・交渉方式を探っていく

ほかの案も持ってはどうかという提案はあったが、2020年7月を目指す市長はいい、

委員も了解したと発言

田辺雄一(公明・千種区)：「発注者の忖意を排除する」

オリンピックまでにやりたい、技術提案・交渉方式 忖意ではないか

所長：技術提案・交渉方式をやるに当たっては、市としての方針

忖意的にやっているという考えは持っていない

田辺雄一(公明・千種区)：忖意的な排除をできなかった

概算事業費 件数 30点

ものすごく値が上がり上がったとき、30点

そういうことでしょうね。

市長「価格はどれほどつり上がってもよい。」認めたということか

所長：評価委員の意見 評価点数を入れる

その際に総合的にいろんな点から見ていただく

内容面、金額面

項目 市長としてはいいものを作りたい

いいものを作るのは大事。金額も総合的に見て選ぶ

田辺雄一(公明・千種区)：金額はいくらつり上がってもいいということか。

そうじゃないのなら配点を変えないといけないのではないか

所長：金額がいくら上がっても 金額も評価する

バランス 市長が意見を言った

田辺雄一(公明・千種区)：金額にも限度がある

名古屋市が見積もった 480 億

腹の中には 505 億があったのかもしれない

「いくらでもいいんだ」 委員が大丈夫かと聞いている

エレベーター

青天井 市長は認めた

主幹：概算事業費 30 点しかないという指摘

当初評価するに当たって、合計得点自体、4 割として脚切り

もっとも優れた基準点 得点の 4 割を満たないのはだめ

事業費の 4 割を満たないのはだめ に変更した

田辺雄一(公明・千種区)：完成時期の見直し 委員から再聴取する

2020 年 7 月までの議論 一定整合性がある。

オリンピックの会場なら間に合わないのだめ

今回市長が名古屋とオリンピックは関係がないが、木造再建したい
だいたい論理の整合性はある。

2022 年になったことに対して評価委員 異論がないと言っている

技術提案・交渉方式である必要性がなくなっているのではないか

文化庁 許可が下りなければ 2022→2023.24 になることも許容

妥当性があることの理由は？

主幹：完成期限の見直し

当初 2020 年 7 月実施 同じような工程

優先交渉権者選定以降の状況の変化 石垣調査、議会の審議

当該工事 仕様が確定しない

田辺雄一(公明・千種区)：完成期限の見直しについては、評価委員の意見聴取する

そういう議論をしたのか

2020 年オリンピックではない

可なのか否なのかは聞いたのか

主幹：選んだ以降 2022 年に延ばした

現在工程 当初の提案と変わっていない

そういう意味では選んだ部分が生きた形できた

工期が遅れたから意味がないとは考えていない

田辺雄一(公明・千種区)：そういうのを恣意という。

それを判断するのは評価委員。

聞いていない以上答えていない。

技術提案・交渉方式 心配して触れている 土木を想定して考えられている
建築の実績はない。

相当の検討を要する

これは大丈夫か

中部地方整備局 いらんこと言ってくれた

土木しかやったことないのに建築で提案して、市長は手を打って喜んだ

ケツカッチンでないものに適用すべきではない

所長：提案については2020年7月と変わっていない

文化庁の許可 工期に間に合わない 中止することができる

受注者の責めに帰さないもの 変わっていない

田辺雄一(公明・千種区):必然性のない契約方式を使おうとしている

機密の保持 発注者は民間 知的財産 他社に知られることがないように

プロポーザルの内容 これまでの資料 提供されたもの 機密の保持担保されたものか

主幹：了承を得て発表している

田辺雄一(公明・千種区)：記者会見で「あんなこといって、今更やめられない」

あたらないでいいか

主幹：公募型プロポーザル 知的財産

提案の一部

市長が申している観点は別

田辺雄一(公明・千種区)：市長が言っていること いちいち確認しないと話が進まない

きっちり守られている 公表されている情報は提案者の了承を経ている

第三者に知られていることは不利にならない

恣意を排除していくか リニアを見据えて

委員の方 市民のためを思って 議会でも何度も言われている

短期でやれば505億 じっくりやれば350億 みんな考える

恣意的に排除した 「高くてもよい」議事録ではっきりわかった

丹羽ひろし(自民・名東区)：メンバー見ると、欠席：三浦教授 理由は？

主幹：ご都合がつかなかった

丹羽ひろし(自民・名東区)：28年6月26日中日新聞 合わせて正確に

実測図もあやしい

4年に短くしたので言う場ではないと判断したのではないか

記者会見 「竹中は材木まで買っている お金伸びたらどうするんだ」

主幹：契約していないので、関係ない

丹羽ひろし(自民・名東区)：記者に謝らないといけない

江上博之(共産・中川区)：入場者数の見込み、税金投入

入場者見込み数 天守閣閉鎖した 180万人

それなりにあっている

その後 360 万人がずっと続くということ

そこをどう説明するか

H38 以降については、漸減傾向が現実的

2 年伸びた 360 万人減っていく 現実的 日本総研すら言っている

レゴランド 希望

他の集客施設 日本総研として 4 年間わかりました

4 年過ぎたら漸減傾向

主幹：366 万人で推移すること 漸減傾向が現実的 重く受け止めている

押し上げ効果もご指摘いただいている

江上博之(共産・中川区)：漸減傾向と設定しないとイケない

その他 二の丸庭園 さらにお金をかけないと 360 万人維持できないと書いてある

所長：特別史跡 保存活用計画を

名古屋市民にとっての財産 計画的に維持管理をしていくことが必要

木造化とは別

入場者増にもつながる

江上博之(共産・中川区)：入場料 天守閣に入るためのものではない

名古屋城に入るため 1000 円と 450 円

主幹：全体の 75%を充当

残り 25%は全体の管理運営整備に活用したい

江上博之(共産・中川区)：どうみても 360 万人 漸減傾向やっていない

別の施設をやっていかないと 成り立つのか

日本総研 3000 万、4000 万かけないとわからない

丹羽ひろし(自民・名東区)：工期延びますよね

鉄骨ブレスを入れる どうなっているのか

管理課長：現時点でご説明できない

丹羽ひろし(自民・名東区)：来場者の安全 11 月 21 日 全国放送

1 ヶ月もかからない 20-30 年もたそうというものではない

僕なら 2 ヶ月でやる 市長の言っていることと一緒にしょ？

所長：ブレスを入れる 調査をかけている 今年度中にまとめる

天守閣木造化をすすめると、11 月石垣調査で入場を止める

木造化で耐震性を確保

丹羽ひろし(自民・名東区)：11 月に止めたなら一切入れないか

所長：ずっと入れないのか、どの程度の調査をするか 文化庁との協議

その辺を踏まえて検討

丹羽ひろし(自民・名東区)：あんだけ騒いで茶番。

資料請求 どういう考えで人の命を守っていくのか

シェルターなのか、見積もりをいつするのか

石垣調査計画

所長：耐震性の考え方について提出

江上博之(共産・中川区)：繰越明許 増えている

主幹：事務費、人件費を除いて 4350 万円設計監理支援業務

資料 3/6 (月) 意思決定の前に質疑

次回 3/6 (月) 10 時半から